新刊ぴっくあっぷ

「それでも、陽は昇る」真山仁著　祥伝社／住宅、五輪、ボランティア、産業誘致など、被災地「復興」の掛け声の下で生じる新たな課題。俺は何をするべきか-。神戸と東北、ふたつの被災地をつなぐ震災3部作、完結編。*F マ

「お探し物は図書室まで」青山美智子著／悩める人々が立ち寄った小さな図書室。不愛想だけど聞き上手な司書さんが、思いもよらない選書と可愛い付録で人生を後押ししてくれて…。明日への活力が満ちてくる、書き下ろしハートウォーミング小説。*F ア

「花束みたいな恋をした」坂元裕二著　ﾘﾄﾙﾓｱ／あなたは思い出しますか？ ふたりで過ごしたあの部屋と時間を、ベランダからの景色を、川辺の帰り道を…。すべての恋の思い出に捧ぐ、珠玉のラブストーリー。1月公開映画のｵﾘｼﾞﾅﾙｼﾅﾘｵ。*F サ

「半藤一利の昭和史　永久保存版」文藝春秋　／(文春ムック)「昭和史の語り部」として知られた半藤一利の追悼ムック。『くりま』2009年9月号「半藤一利が見た昭和」をもとに、保阪正康らの寄稿「半藤さんから受けとったもの」、肉筆原稿、単行本未収録の対話等を加え編集。*289ハ

「渋沢栄一 運命を切り拓く言葉」渋沢栄一著　清談社Publico／成功への道筋を「日本資本主義の父」に学ぼう! 成功哲学、王道と事業のあり方、志の持ち方と富の得方、勉強法、日常の心がけ…。渋沢の著述から厳選した言葉を、わかりやすく解説を加えて紹介する。*159シ

「明日死んでもいいための44のレッスン」下重暁子　幻冬社／自らの死について考えることは、よりよく生きることにつながる。「明日死ぬとして、やり残したことはないか？」と問われれば、自信をもって「ない」と言える著者が、思い残すことなく旅立つための44のレッスンを披露。*159シ

「スマホ脳」ｱﾝﾃﾞｼｭ・ﾊﾝｾﾝ著　新潮社／睡眠障害、うつ、記憶力や集中力、学力の低下、依存…。ｽｳｪｰﾃﾞﾝで注目されるﾒﾝﾀﾙﾍﾙｽのｲﾝﾌﾙｴﾝｻｰが、スマホやiPadが人間、特に子供や若者に与える影響を最新研究をもとに明らかにする。／*491ハ

「ifの地球生命史　“もしも”絶滅した生物が進化し続けたなら」土屋健著　技術評論社／地質時代に生き、滅んでいった古生物たち。もしも、古生物が滅びず、子孫を残し、進化を重ねることができたのなら、どのような生物が登場したのか。そんな「ifの物語」を、超リアルなCGで展開する。*457ッ

「よけいなひと言を好かれるセリフに変える言いかえ図鑑」大野萌子著　ｻﾝﾏｰｸ出版／ポジティブなｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝのｺﾂが身につくと、好感、好印象を与えるようになって、信頼関係を築けるようになる。「よけいなひと言」を「好かれるセリフ」に言いかえﾊﾟﾀｰﾝを141例紹。*361オ

「手作りアイデアeco小物　ネクタイ、Tシャツ、Yシャツ、ジーンズ、タオルetc.で作るくらしの素敵な小物」ﾌﾞﾃｨｯｸｸ社／不要になったネクタイを扇子入れや雛人形に、Tシャツをシューズキーパーに、Yシャツをバッグに、ジーンズをお弁当入れ・ボトル入れに…。捨ててしまう前に素敵な再利用のアイデアで作る、くらしに役立つeco小物を紹介。*594テ

「こどもおうちあそび大全 0･1･2歳～才能が大きく育つ!」横山洋子著　永岡書店／からだあそび、食育あそび、造形あそび、絵本あそび…。「思考力」「粘り強さ」「挑戦意欲」「自己肯定感」など、非認知能力を育てる「おうちあそび」を、イラストとともにやさしく紹介します。*599ヨ

「庭木の「困った!」解決ナビ　植える、育てる、切る」船越亮二著　主婦の友社／花が咲かない実がつかない、元気がない…。庭木を育てていく間に起こる「困った」を解決する! 庭木の植え方、育て方から剪定までを、イラストで紹介。樹種別の生育管理カレンダー、Q&Aも収録。*627フ

としょかんだより

【下條村立図書館　151号　2021年3月15日発行】

コロナ禍となってから２回目の春がやってきます。そして３．１１から１０年の歳月が流れました。春は、別れと出会いの季節。一歩外へ出れば、緑が芽吹き、花が咲き、鳥はさえずり、大きな空には太陽が輝き、風は雲を運びます。どんなことがあっても自然はめぐり続け、生きものたちは生命をつないでいく春。ここ下條村の、平凡な日常にある幸せのひとコマです。

としょかん大好き家族　part123

熊谷さんご一家　菅野（畑中）

親子でいつも楽しげな雰囲気…友だちのような漫才コンビのような？なかよし親子の熊谷さんご一家です。

長女の安珠(あんじゅ)ちゃん(１年生・６歳)は、飯田市の保育園を卒園し、昨年4月下條小学校へ入学しました。0歳のころから、つどいの広場や図書館を利用していたので仲良しのお友だちもいて、すっかり小学校生活にも慣れ、楽しんでいます。

お母さんの香織さんが下條村へお嫁にきたころ、ちょうど図書館が開館し、さっそく登録して本を借りていました。結婚して安珠ちゃんが産まれてからは、ブックスタートで絵本と出会い、図書館へきて借り始めました。家では、一日の終わりに、お父さんかお母さんが絵本を1冊読むことを日課にしてきました。

保育園では、昨年秋に行われた制作展示で、年長さんは『どうぶつサーカスはじまるよ』(西村敏雄/福音館）の絵本に出てくるキャラクターを作りました。いろいろな動物のなかからワニを選んだ安珠ちゃん、ワニチームのみんなで“ワニのピラミッド”を作って展示をしたら、たいへん素敵なできばえだったそうです！もちろんこの絵本は購入し、何度も読んで楽しみました。

借りる絵本を選ぶときは、お母さんといっしょです。絵本のタイトルや、表紙の絵の雰囲気で「読んでみたい！」と思ったら借ります。これまでに気に入って読んだ絵本は？『ブルくんとかなちゃん』ふくざわゆみこ作/福音館、『ぶたのたね』佐々木マキ/絵本館、『ねこざかな』わたなべゆういち/フレーベル館、『１１ぴきのねこ』馬場のぼる/こぐま社、『バムとケロ』島田ゆか/文溪堂、『のらねこぐんだん』工藤ノリコ/白泉社など…魅力的なラインナップがずらり！どれもシリーズが数多く出版されている、人気者の絵本たちです。もちろん、シリーズは全部借りて読みました。

そんな安珠ちゃんが、今いちばん推しの絵本は、**『クネクネさん』**シリーズ（樋勝朋巳/福音館）2冊と、同じ作者による**『たいこ』**（こどものとも年少版・幼児絵本）。**「言葉や音に独特のリズムがあって、声に出して読むと楽しくて大好きみたい。絵や登場人物がシブくて、個性的なのも魅力です😊」**と、お母さんの香織さんが、おすすめの言葉を添えてくれました。

【もくじ】１ｐ:図書館大好き家族　２ｐ:ボランティア会員募集　３ｐ:婦人会の歩み　４ｐ:新刊ぴっくあっぷ

のはらうたの会　会員募集します

＜活動の内容＞月に１回（年間 10 回）、小学校の各クラスに読み聞かせボランティア「のはらうたの会」が入り、朝読書の時間（8:20～8:35）に、子どもたちに絵本を読んでいます。

＜**研修**＞毎年、絵本について学ぶ講習会（講演会）を年度初め（４～５月）に実施しています。また、各クラスで読む絵本を選び、会員がお互いに読みあう研修会（司書が同席）も毎月行っています。

＜**活動の趣旨**＞１７年前、小学校からの要請に応じて始まったボランティアですが、**「読み聞かせを通して 子どもたちにいい本に出会ってほしい」**という願いを軸に、会員の努力により継続している貴重な活動です。次年度代表の佐々木さんは、**「子どもたちは絵本を集中して聞いてくれるので、また読みたいなぁと思います」**と話します。

のはらうたの会による読み聞かせ。下條小学校にて。

のはらうたの会では、会員を募集しています（見学も可能）。興味のある方は、図書館または小学校までご連絡ください。【連絡先：下條村立図書館 27-3585／下條小学校 27-2111】

小学生図書館ボランティア募集中

図書館では、毎週土曜日 下條小学校の児童（図書館ボランティア）によるおはなし会を開いています。10時30分より、図書館に来てくれた小さい子どもたちに、**絵本、かみしばい**を読んだり、**わらべうたや手あそび**などをして、いっしょに楽しいひと時を過ごしています。

11時過ぎからは、**図書館の仕事のお手伝い**をしてもらいます。**季節のテーマブックコーナーの絵本展示、おひなさま・七夕・クリスマスツリーなどの飾り付け、ポスター作り**など図書館がよくなるようにアイデアを出してもらいながら、職員と一緒に活動しています。

図書館では、小学生図書館ボランティア（3 年生以上）を随時募集しています。入会を希望する場合は、図書館または小学校までご連絡ください。（この活動は教育委員会で主催する少年クラブの一環として、小学校から毎年4月に、新1年生に申込書が配布されます）

毎週土曜日のおはなし会。毎回、読む絵本や紙しばい等の当番を決めて行っています。

入野 吉村家（古林）より、ご寄贈いただいたひな人形。昭和 27 年に購入されたもの。小学生ボランティアが飾りました！

下條村婦人会の歩みをたどる

このたび、村の婦人会（愛国婦人会・国防婦人会）の成り立ちと歴史について、NHK広島から資料調査があり、まとめました（成立時期と要点）。7月まで資料を探し、テレビ番組を制作するそうです。

今回の調査では、村誌を編纂するときの元となった一次資料（原稿、メモ、手紙、写真等）を探していますが、図書館には所蔵がありません。そうした資料について見聞きしたことのある方、なにか手掛かりになることをご存じの方は、図書館までお知らせいただければ幸いです。

＊赤十字と青年会は婦人会と直接の関係はありませんが、前身とも考えられ参考までに掲載します。

◆ **赤十字下條分区**
明治32年 10 月　長野県支部下条分区創立
昭和30年11月8日　下條村日赤奉仕団設立
32年　団長選出制　初代団長：古田泉　第二代：川上はる

◆ **青年会**
明治19年　小学校令改正、帝国憲法発布、市町村制となり江戸期の若連（じゃくれん）→青年会発足へ
〇親田同窓会（宮島喜美・木下八蔵・小笠原秀雄）が、山本村愛友会と月1回交流会を実施
明治24年　下條・富草・大下条・泰阜が阿南青年会となる（幹事：吉村敏美）
大正期：下伊那郡青年団として活動
昭和初期：下條青年サークル活動（農村労働慰安、公民館活動と合体）

◆ **女子青年団**
明治42年　陽皐主婦会・処女会（区内15歳までの未婚者）創立　（提唱者：村沢実太郎）
大正 9年　睦沢・親田　各区処女会発足
12年7月10日　3地区合同→下條女子青年団発足（戦後は下條青年団に）
季節託児所の開設：子ども１人1日１銭徴収し、女子青年団員が保母となる
（睦沢部校57人　親田部校59人　陽皐部校89人　北又公会堂20人　本校33人）

◆ **愛国婦人会**
明治 43 年　下伊那に 53 の婦人会があり、会員数 616 人（県内では先進地）
昭和 11 年　大日本愛国婦人会支部→愛国婦人会設立　初代会長：亀割民恵
昭和 18 年　愛国婦人会解散→大日本国防婦人会（戦争への協力）

◆ **下条婦人会**
昭和 20 年　終戦→愛国婦人会、国防婦人会解散
21 年　下條村婦人会発足　（会員 820 人）
婦人参政権→婦人議員選出→減少→婦人会事業（衣食住）へ転換　農協婦人部発足
昭和 32 年 12 月 25 日　婦人生活文集『さざんか』創刊号発行　会長：川上はる

◆の項目については『下條村誌 下巻』～第5章/第1節～より抜粋。用語は記述通りに掲載しました。

〇下條村女性連絡会
（＊記録がないため、当時の役員、村担当者から情報収集し記載）
平成 10 年 11 月　婦人会解散決定（役員構成できず）
「災害時などに女性組織や連絡会が必要」と意見が出る
平成 11 年 4 月　女性連絡会発足　（会長・副会長は置かず）
平成 21 年　　地区の代表のみ選出
役割：災害発生時の地区連絡員となる／女性連絡会交流会、女性学級への参加／成人式、光の園へボランティア等

婦人生活文集「さざんか」は創刊号（1957 年）～26 号（1996 年）まで刊行されていますが、1963～67 年までに刊行された第 6～7 号の所蔵がありません。ご寄贈いただけるものがありましたら、ご連絡ください_(._.)_